



日本学術会議 & 経団連合同シンポ: 東京030719

# 『これからの産学連携～地方大学の視点から』

～地域とともに 時代とともに 維新の息吹を 今 山口から世界へ～

国立大学法人山口大学長

岡 正朗 : Masaaki Oka, MD, PhD

## ◇山口大学全体の理念◇

「発見し・はぐくみ・かたちにする」 知の広場

山大スピリット: 共同、共育、共有

ミッション: 教育・研究・**地域貢献**



1



山口大学

‘地域活性化の中核となるとともに、特定分野で国内外に発信する大学’

## 地方国立大学の地域経済への波及効果

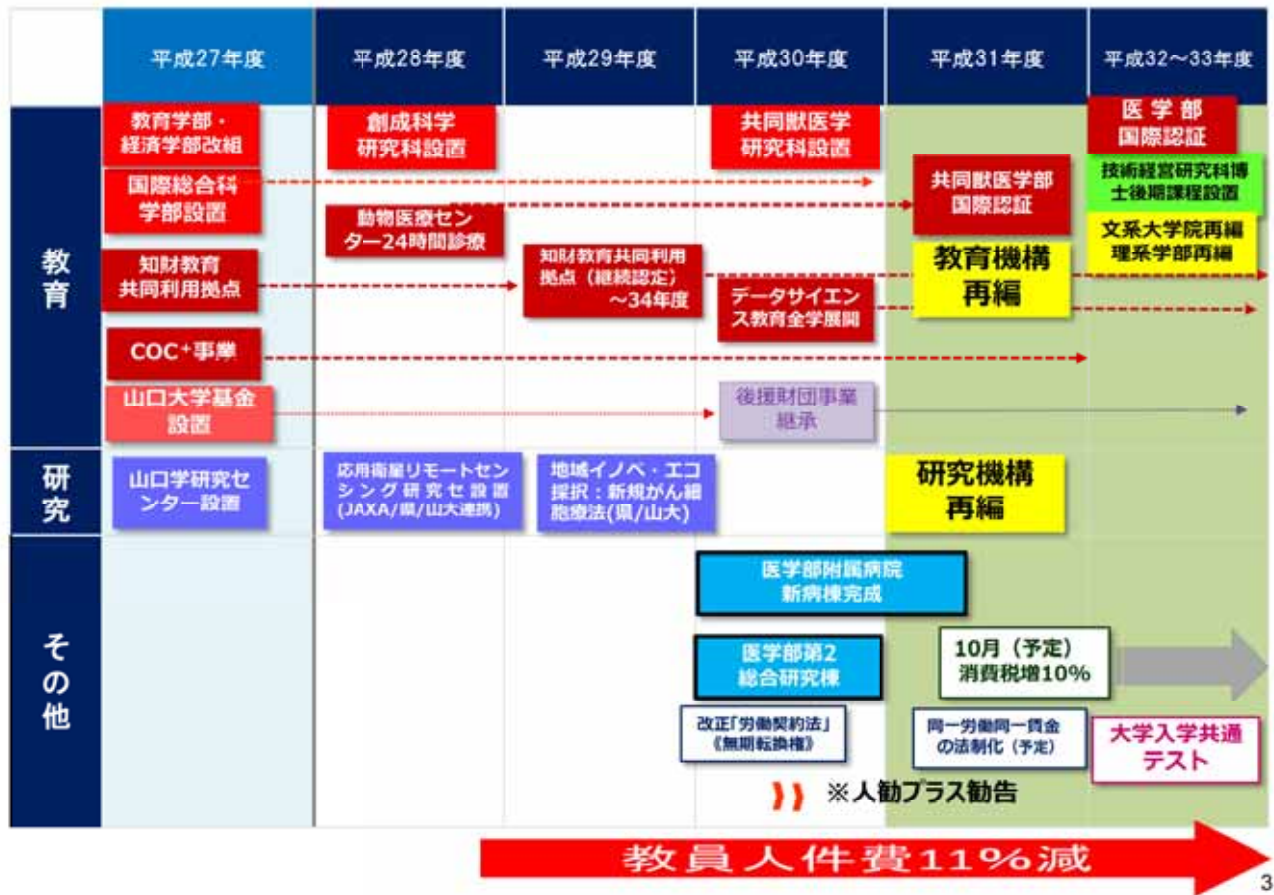
山口県経済に対する山口大学の波及効果 : **675億円**

これらの主な産業以外に、「医療福祉」、「飲食・宿泊業」、「金融・保険業」、「農業」、「教育・学生支援事業」の産業等で **107億円の生産誘発効果**がある。

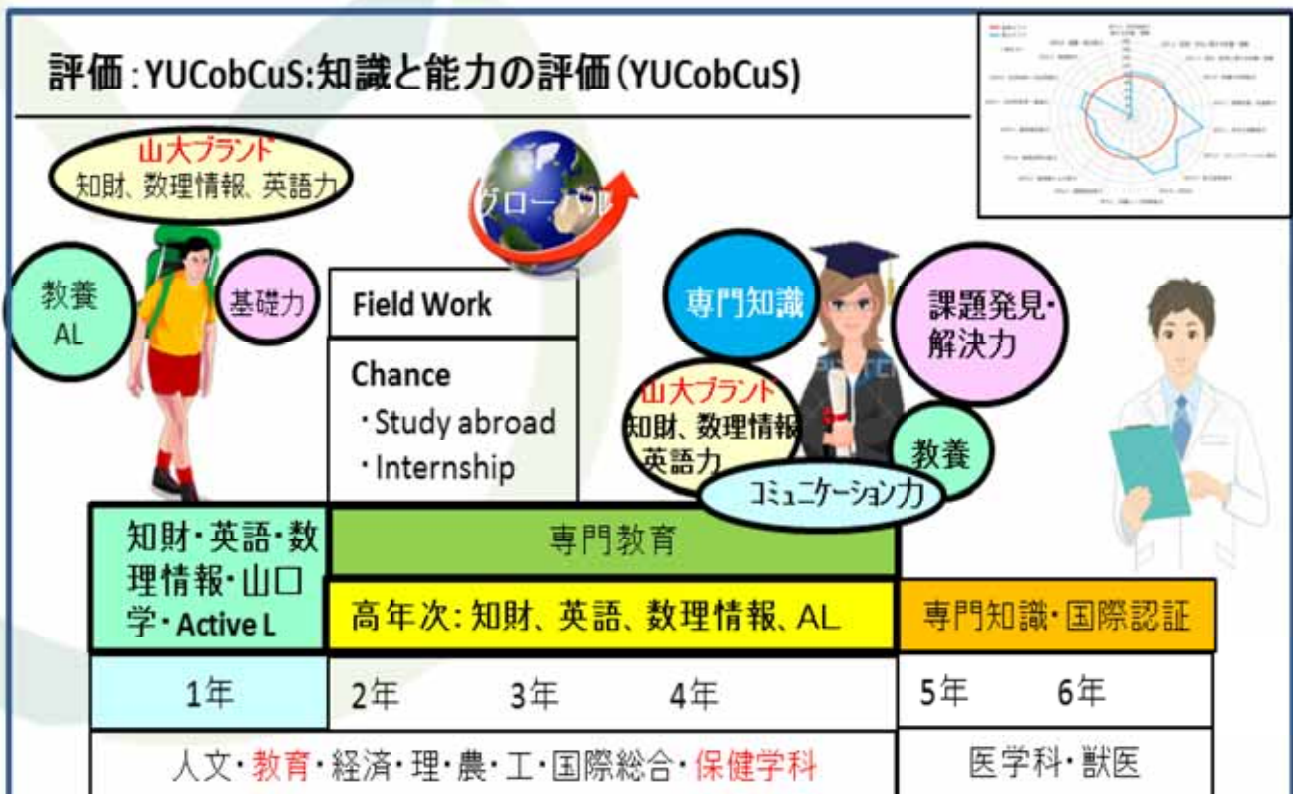


- ◆ 地方国立大学の様々な機能を活かした**地方創生への貢献**
- ◆ 山口県及び、周辺地域（中国地域、九州北部**地域への波及効果**）

- **1815年創基**（200年以上の歴史）
- 9学部9研究科（3キャンパス）
- 学生数 10,412名  
（学部:8,761名 大学院:1,651名）
- 留学生 710名（ビザ 516名、短期194）
- 教職員数 2,371名  
\* 20時間以上働く教職員数は3,366名

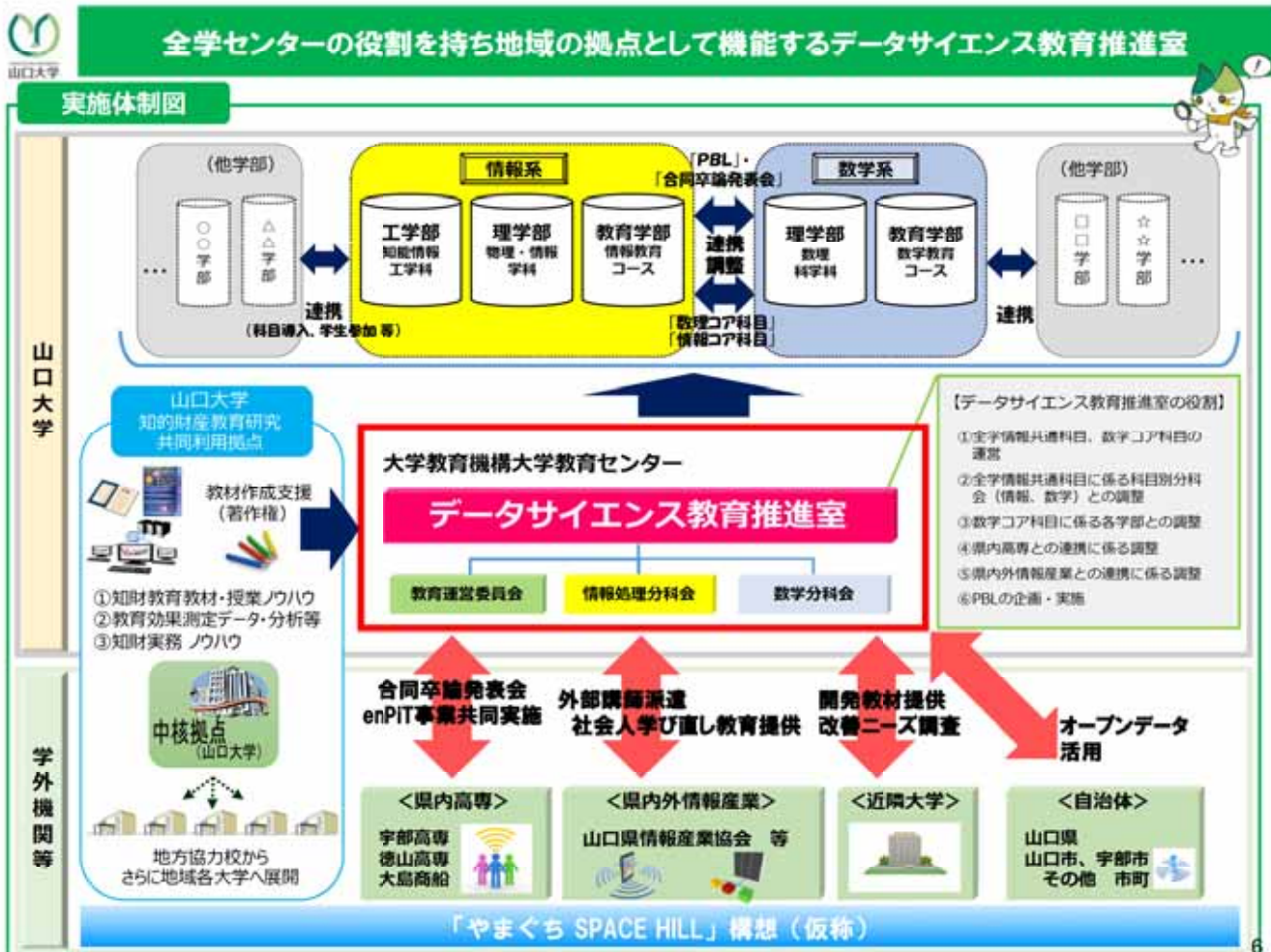


## 山口大学 学部学生





©2015 YAMAGUCHI UNIVERSITY All rights reserved.



# 学術交流協定(平成30年5月1日):36カ国157機関



(単位:件)

大学間協定	
アジア	63
ヨーロッパ	18
アフリカ	1
北米	7
中南米	9
オセアニア	4

(単位:件)

部局間協定	
アジア	38
中東	2
ヨーロッパ	8
北米	3
中南米	1
オセアニア	3



地域とともに 時代とともに  
維新の息吹を今山口から世界へ

## 明日の山口大学ビジョン

2015

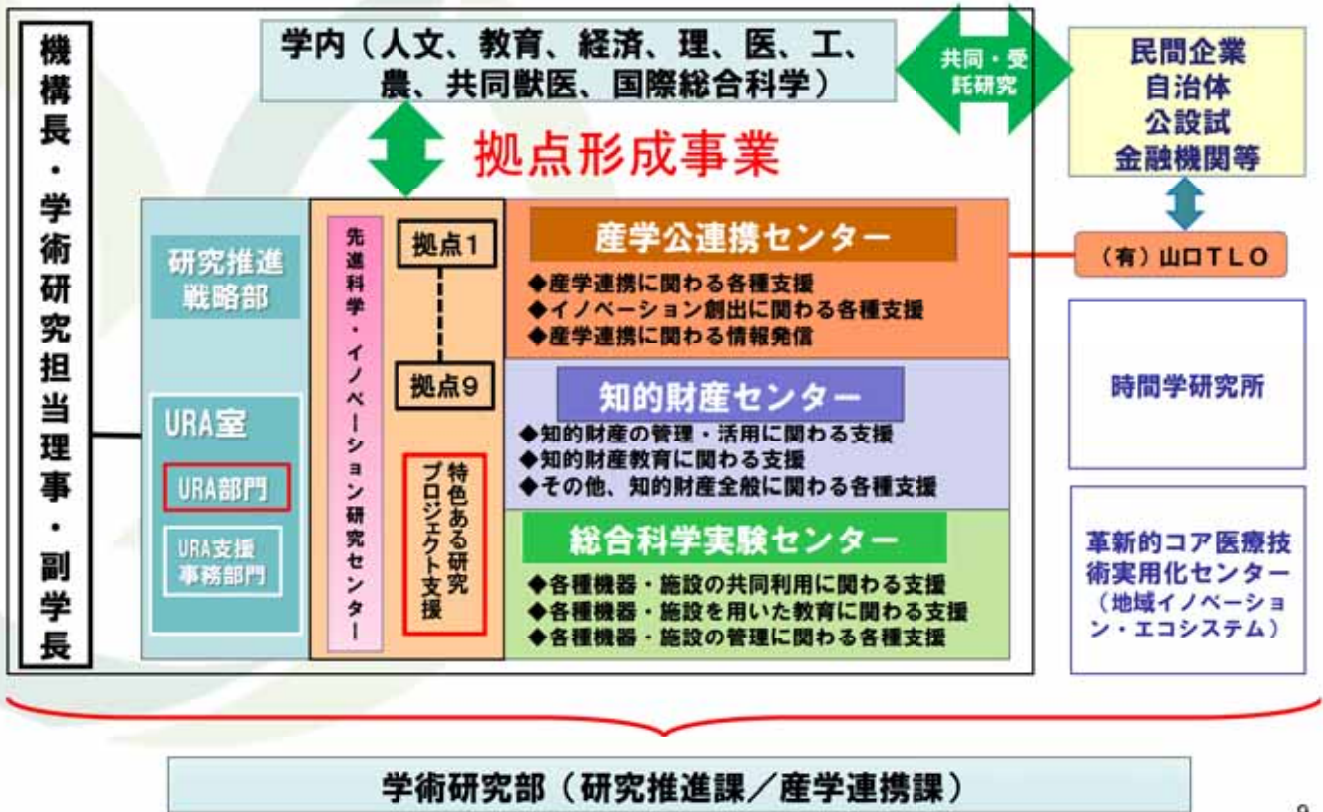
山口大学は、大きなグローバル化の波や多様性を見据え、10年後の2025年には、留学生を含む全ての大学人と地域の人々などが、互いの歴史・文化・民族・言語・宗教など、多様性を許容し、新たな価値観を創造する、アジアの風を感じる「**ダイバーシティ・キャンパス**」の創造を目指します。

### 研究: Research

地域の基幹総合大学として各専門分野での研究を極めるとともに、他分野や学内外・国内外の研究者との交流・連携を深め、新たな研究

シーズを創出し、**時代**や**地域**が求める**ニーズ**や**課題**に応える研究を推進します。研究成果の社会還元を目的に、科学技術**イノベーション**創出をリードし、**文系**と**理系**が**連携**する新たな研究や学問分野の創成を目指します。

# 山口大学研究推進機構



9

## 産学連携強化について

○（山口大学）民間企業との共同研究・受託研究実施件数及び研究費受入額の推移



（出典）文部科学省 科学技術・学術政策局産学連携・地域支援課「大学等における産学連携等実施状況について」  
新規契約ではなく、当該年度に研究期間があり、かつ研究経費の受け入れがある国内民間企業案件のみカウントしたもの

10